

形式		単元 No.	単元名	単元の概要	講義No.	時間	動画 時間		講師	学習目標
オン デ マ ン ド	講 義	0	コース紹介		0	2分	2分			
		1	対策立案総論	災害対応における対策立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制について学ぶ。	1-1	65分	1分 13分 19分 13分 17分 2分	学習項目     ふりかえり	林 春男 （京都大学）	<ul style="list-style-type: none"><li>ハリケーンサンディに学ぶ2種類の災害時業務の存在について説明できる。</li><li>対策立案過程について説明できる。</li><li>事前計画と当面の対応計画の関係について説明できる。</li><li>災害対応の世界標準から見た対策立案の業務範囲について説明できる。</li></ul>
					1-2	39分	15分 18分 6分	世界標準に則した災害対応体制の構築		<ul style="list-style-type: none"><li>災害対応でやるべきことについて説明できる。</li><li>効果的な災害対応を実現するために市町村がはたすべき役割について説明できる。</li><li>Incident Command System（ICS）を基本とする組織編制・運営について説明できる。</li></ul>
					1-3	31分	1分 4分 9分 8分 5分 4分	学習項目 平時業務を世界標準に即した災害 対応業務にどう変換するか    ふりかえり		<ul style="list-style-type: none"><li>災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を把握できる</li><li>世界標準に即した災害対応業務が5つの役割で構成されていることを理解できる</li><li>市町村が中心になって活躍する災害対応業務6＋1を理解できる</li><li>平時の業務を世界標準に即して災害対応業務に変換する ことができる（ICS準拠）</li></ul>
		2	指揮統制の世界標準 （危機対応に必要となる 役割（部門）と機能）	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学ぶ。	2	39分	4分 16分 14分 4分 1分	学習項目    ふりかえり	秋富 慎司 （日本医師会 総合政策研究機構、 東北大学 災害科学国際研究所）	<ul style="list-style-type: none"><li>Incident Command System役割と機能について説明できる。</li><li>部門別における目的と責務について説明できる。</li><li>PlanningのPとIncident Action Planについて説明できる。</li></ul>
		3	災害対策本部が行う 対策立案プロセス	「当面の対応計画（インシデント・アクション・プラン）」の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学ぶ。	3	56分	1分 13分 9分 14分 15分 4分	学習項目    ふりかえり		<ul style="list-style-type: none"><li>災害対策本部の活動サイクルについて説明できる。</li><li>当面の対応計画の策定について説明できる。</li><li>当面の対応計画策定のための災害対策本部での情報処理について説明できる。</li><li>災害対策本部会議の進め方について説明できる。</li></ul>
		4	地図による状況認識の統一と ISUTの試み	GISによる統合された情報提供の必要性和ISUTの有効性について学ぶ。	4	66分	1分 9分 13分 15分 9分 18分 1分	学習項目      ふりかえり		<ul style="list-style-type: none"><li>地理情報システム（GIS）の必要性を説明できる。</li><li>GISとは何かを説明できる。</li><li>GISを活用するためのポイントを説明できる。</li><li>統合的な情報共有システムの構築に向けて説明できる。</li><li>大規模災害時の国による情報集約支援（ISUT）の仕組みについて説明できる。</li></ul>

オンデマンド	講義	5	応急期の政府支援	発災直後に各省庁から提供される具体的な支援の内容について学ぶ。	5-1	103分	1分	学習項目	林 春男（京都大学）	・ 災害応急期に実施される緊急消防援助隊の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される警察災害派遣隊の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される防衛省・自衛隊の災害派遣活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施される海上保安庁の活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施されるTEC-FORCEの活動について説明できる。 ・ 災害応急期に実施されるDMATの活動について説明できる。
					5-2		9分	伊藤 学（消防庁）		
					5-3		12分	前田 竜吾（警察庁）		
					5-4		24分	竹内 一博（防衛省）		
					5-5		15分	寄高 昭（海上保安庁）		
					5-6		18分	井上 清敬（国土交通省）		
					5-7		23分	近藤 久禎 （国立病院機構本部 DMAT事務局）		
					5-8		1分	ふりかえり	林 春男（京都大学）	
					6	効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法	災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、マニュアルの作成について、災害対応の事例を基に学ぶ。	6	70分	
		19分								
14分										
22分										
11分										
3分	ふりかえり									
対面	演習	7	災害対策本部運営演習 （当面の対応計画の流れを中心に）	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学ぶ。	7	150分		山本 晋吾 （兵庫県立農林水産技術総合センター） 新堀 賢志（火山防災推進機構）	・ 災害対策本部の運営について説明できる。	
		8	全体討論	災害対応マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考える。	8	75分		林 春男（京都大学）	・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。	